

予算審査特別委員会

第14号議案・平成25年度白石市一般会計補正予算(第6号)から第25号議案・平成26年度白石市下水道事業会計予算までの計12議案については、定例会2日目(2月18日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・佐久間儀郎、副委員長・志村新一郎)は、2月19日から2月28日までの間で審査した結果、第20号議案・平成26年度白石市一般会計予算については、反対及び賛成の討論があり、表決の結果、賛成多数で、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

◎第14号議案・平成25年度白石市一般会計補正予算(第6号)

教育民生所管

〔質疑〕学校給食センター費の備品購入を見直し、減額にしたとのことだが、どのような見直しをしたのか。

〔答弁〕平成27年度から新しい給食センターとなる予定であり、新しい施設に合わせて備品等を整備することにより、今更新してもすぐ使わなくなるものも出てくるため、その

分を減額とした。

〔質疑〕予防費の予防接種委託料が減額となっているが、どのような理由なのか。

〔答弁〕子宮頸がん予防接種で、副反応が出たことにより、積極的な接種の勧奨を控えたことが大きな理由である。

〔質疑〕平成25年度の目玉事業であるまちづくり交付金はどの程度の地域で使ったのか。また、今回まちづくり交付金

はどのような理由で減額となったのか。

〔答弁〕7地区9団体に対して、26万2千700円を交付した。減額の理由は広報等で周知はしたが、昨年4月から事業を展開する団体もあり、その申請受付が6月末までだったことから申請には至らなかった事が理由と考える。

〔質疑〕保育園費の負担金補助及び交付金が増額となっているが、はるかぜ保育園の定員が増えたことによるものなのか。

〔答弁〕はるかぜ保育園運営費補助の増額の理由は、定員90名に変わりはないが、弾力的な運用として2割増しの人数まで受け入れることが可能となっている。当初は90人を見込んでいたが、平均すると96名が入所しているため、その差額を増額している。

総務財政所管

〔質疑〕花と緑の回廊づくり事業費が増額となっているが、どのような理由なのか。

〔答弁〕花と緑の回廊づくり事業費の増額については、春から秋にかけて季節別に本市の代表的な花見どころの紹介をするとともに、市民から花と緑に関する情報の提供を呼びかけるチラシあるいはマップを兼ねるものを発行するものである。配布は市内全戸配布に加え、公共施設に設置して市民への啓発、観光客へのPRに活用するものである。

建設産業所管

〔質疑〕都市計画費の街路事業費において土地購入費と物件移転補償金との予算の組み合わせが行われているが、これらの内容についてお示しいただきたい。

〔答弁〕街路事業費の白石沖西堀線の事業費については年度予算が確定しており、その中で公有財産購入及び補償等を行おうとするものだが、補償額等が確定したことにより、その額の範囲内で土地の購入、

用地の購入等及び建物等の補償をできるところまで行おうとするものである。

特別会計

〔質疑〕後期高齢者医療特別会計の歳入で特別徴収保険料が減額となっている理由は何か。また保険者は何人となっているのか。

〔答弁〕広域連合が試算した負担金見込み額が県の平均額できているので、当市で保険料確定に伴う平均保険料との差額が県平均保険料に満たないため減額している。保険者は特別徴収が、4千154人、普通徴収が1千844人である。

〔質疑〕介護保険特別会計の配食サービス事業委託料が減額となっているが、利用者数はどうなっているのか。

〔答弁〕今年度の見込みで配食サービスの利用実人員は143名であり、配達日数は24日を予定している。